



佐賀子どもシェルター  
ばるーん



## 『頑張らない』という言葉の重み

「大丈夫です」、「はい」…入所当初、なかなか自分の思いを言葉に表現することができなかったAさん。とある週末、Aさんに対して、「来週は何をしたい?」、「来週は何を頑張ってみる?」と話しかけました。

Aさんは「うーん…」と考えたあと、ニコッと笑って会話が終わりました。1週間後、同様の問いかけをするとしばらく考え、「〇〇〇を頑張る」との返答が来ました。私は「Aさんの気持ちが聞けて良かった」と安堵しました。

その後、上記のような質問をすることがしばらく途絶えました。久しぶりに「来週は何を頑張るの?」と尋ねると、しばらく考え込み、「頑張らない」と私の目をしっかりと見てAさんは答えました。Aさんの目に、迷いはありませんでした。

今まで、自分の身を守るために、必死に頑張ってきたのでしょうか。もしくは、頑張らないといけない世界にいたのでしょうか。「頑張ること」が当たり前になっていた世界を自分自身で「これは違う!」と感じ、頑張ることが当たり前の世界から抜け出したのです。

この時、私は「Aちゃんは、絶対に変わる!」、「Aちゃんの未来は明るい!」と確信しました。同時に、これまでの私との会話の中に「頑張らなくて会話をしないと」、「自分の意見を言わないと」、「当たり障りのない意見って何だろう」等、Aさんは考えながら発言をしていたのではないかと思います。今までの関わり方に反省しました。

「頑張らない」と宣言したAちゃん。入所当初は、「はい 分かりました」という返事が多かったのですが、最近は、「〇〇〇より〇〇がしたいです」と自分の今の思いを伝えてくれたり、「えー…いいです」と断ることも増えてきました。断るAちゃんに対して、「えー何で? やってよー」笑いながら返答し、心の中ではガッツポーズをしている今日この頃です。

自分の意見があるにも関わらず、周囲の環境に押しつぶされてしまう子、上手く自分の意見を言語化できない子、自分の意見をどこかに置いてきてしまった子…。シェルターには、様々な子ども達がやってきます。子ども達一人ひとりの現状を理解し、その子の思いや願いを引き出すことが、スタッフとしての役目ではないかと考えました。

Aさんとの関わりを通して、「自然体に生きること」で自分自身を守ることに繋がっていくのだなと再確認し、今後も出会うであろう子ども達が自然と羽を伸ばすことができる環境を作っていくために邁進していきたいと決意した出来事でした。考える機会を作ってくれたAちゃん、ありがとう♡

スタッフAM

## ボランティア交流会を行いました!

お正月気分もようやく抜けた底冷えのする日でしたが、『交流会』を開催しました。

協力ボランティアの香月さんが農作業小屋を開放して下さり、暖房器具を集結して心まで暖まる会場作りをしていただきました。同じく協力ボランティアの北村さんが、息子さんを連れてピザ窯持参で応援に駆けつけてくださいました。

手作りのジェノベーゼソースとチーズのピザ、焼き芋、ちぎりパンがその窯で次々に焼きあがりました。小屋内のストーブでは、野菜の甘みが染み出た甘みの深いスープがコトコトと煮込まれました。北村さん直伝の手作りチョコレートも、香月さんが丁寧に焙煎してくれた珈琲と共に美味しくいただきました。

入所の子どもたちは、大人の人数が多く戸惑う場面も見られましたが、無理無く活動出来る位置を自分で決めて過ごすことが出来ました。

日頃シェルターに想いを寄せて下さっているボランティアさんと交流ができ、とてもいい時間をもてたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



## ばるーんの毎日

子どもシェルターばるーんでは、現在「編み物」が流行中！  
スタッフの「編み物、やってみる？」の一言から、子どもへ、他のスタッフへと広がっていきました。



これまでにニット帽子、マフラー、ペンギンやアヒルなどの動物、リンゴやレモンなどの果物などを編みました。どの作品も可愛らしく、すてきなものばかりです。

## 「市民活動プラザフェスタ」に参加しました！

11月30日、「市民活動プラザフェスタ×スポテン SAGA2024」に参加しました。初めての試みでしたが、子ども達と一緒に作製したヘアゴムや編みぐるみ、コースター、インニシャルストラップなどを販売しました。子どもも大人も、「可愛い〜」と商品を手にとってくださる方が多く、嬉しい気持ちになりました。

立ち止まっていた方には、ばるーんの説明をさせていただきました。子ども達の実情や、ばるーんでの生活の様子に、熱心に聞いていただきました。

ボランティアの皆さま、ご購入いただいた皆さま、ありがとうございました。



## 秋より、新しいスタッフが仲間入り

ばるーんに帰るたびに増えている子ども達が取り組んだ編み物や小物、イラストなどの作品の完成度に「すごい！作り方は？」と毎回驚きと関心でいっぱいです。

そして、子ども達のことを想いながら作られるスタッフの手作りの食事と気配りに毎回「すごい！おいしい！」の言葉。スタッフ手作りの食事をしながら雑談したり笑ったり、ばるーんでの素敵な出会いが次のステージのステップアップに繋がっていくような関りができるようになりたいと思います。 スタッフ YS



## ご支援の御礼



皆さまには、日頃よりご支援を賜り感謝申し上げます

新しいランチョンマットに変わり、「この柄が好き」と話す子ども達。食卓が華やかになりました。



さつま芋は、子ども達の大好きな焼き芋にさせていただきました。



たくさんの支援物資をいただき、ありがとうございました。ばるーんでの生活や退所後の子どもの生活で使わせていただきます。



佐賀子どもシェルター  
ばるーん